

英語で未来を拓く

『社会が変われば教育も変わる』
これからのグローバル社会を
生き抜く子どもたちのために

お子様の未来に 差をつけるのは

「使える英語」です。

英語で困らせたくない…その不安、その心配をアーネスト英語学院に預けてみませんか？

これからの時代を生き抜くために必要なこと

急速なグローバル化や人工知能の進化。国際社会の共通言語になっている「英語」の重要性が、将来さらに増していることは想像に難くありません。2年前に始まった小学校英語教科化は、「世界で活躍する人材を育成するため、早い時期から基礎的な英語力を身につけさせるのを目的」とし、「読・書・話・聞」の4技能をバランスよく鍛えコミュニケーションの能力を育てることを重視しています。

この改革の方向性とも合致したアーネスト英語学院独自の指導法『デュアル・レッスン®』は、「わかる」と「ためす」の連動型レッスンで、聞く力・話す力はもちろん、変化する学校英語や受験英語、英検をはじめとした資格試験にもしっかり対応。2歳から高3生まで一貫で育てる教育システムで、将来につながる英語力を身につけます。小・中・高の学校英語はどう変わったのか。3回に分け、今回は小学生にフォーカスしてご紹介いたします。

(ほととバルライター菊池しずか)

アーネストの『デュアル・レッスン®』が、それを解決します。

小学生 小学校英語教育の「早期化」「必修化」

- ① 学習目的「英語によるコミュニケーションスキルを養う」
- ② 小3・4年→「外国語活動」英語に親しみ触れる
- ③ 小5・6年→「外国語」教科として評価がつく

英語4技能(5領域)

話す Speaking やりとり interaction 発表 presentation 聞く Listening 読む Reading 書く Writing

小学校では特に「話す」「聞く」を伸ばすカリキュラム

ルールを理解→ネイティブ講師と実践を繰り返すことで自然と表現する力・考える力が身につく!

小学生のうちに身につけておきたい力

- ① フォニックス(スペルと音の規則性)
- ② 基本単語の読み書き
- ③ 基本的な英文法のルール
- ④ クラスルームEnglishを聞き取り、使う力

アーネストなら、4技能5領域をバランス良く身につけ、英語の底力を鍛える!

現状は？対策は？

世界に比べ日本の英語力が低い理由。そのひとつは、学習の「時間」と「量」。

アメリカ国務省やFSIの調査データ等によると、日本人が英語を習得するには少なくとも2200時間の学習量が必要であるのに対し、小3から高3までの学校での学習時間は1200時間に満たないのが現状。圧倒的に時間と量が不足しているのが、大きな原因といわれています。

■2022年の世界主要国の英語ランキング

1 オランダ	22 フィリピン	36 韓国	62 中国
2 シンガポール	24 マレーシア	52 インド	65 ネパール
3 オーストリア	31 香港	60 ベトナム	80 日本

※4位以下はアジアの一部のみを抜粋

EFエデュケーション・ファーストのEF EPI英語能力指数

シンガポールなど順位が高い他アジア諸国では、小学校での英語教育の必須化を早くに導入し、授業回数・勉強時間が日本と比較して圧倒的に多いのが特長。TOEFL/TOEICを開発するETS社の最高執行責任者デビッド・ハント氏は、英語教育が発展する国・地域の条件は右記の4点と言及しています。

- ① 英語教育を早期から行っている
- ② 英語の指導の質が良い
- ③ 英語を使用する実践の場がある
- ④ 英語を身につけることによるインセンティブ(進学・就職・報酬など)がある。

参考:ベネッセ教育総合研究所より

早くから英語に触れることで
強固な土台と自信をつけることが大事!

4技能をバランスよく鍛える アーネスト独自の『デュアル・レッスン®』

「わかる」と「ためす」の 連動型レッスン

わかる英語
日本人講師レッスン

ためす英語
外国人講師レッスン

結果が出せる3つの特徴

1 理解・実践連動型

1つのカリキュラムを「わかる」(日本人講師)と「ためす」(外国人講師)の両方から学び、知識を常にアウトプットすることで、自分の言葉として定着できる。

2 フィードバック型

大脳生理学の記憶の原理に則り、「わかる」と「ためす」のカリキュラムを1週間のタイムラグを置いて構成することで、定着度を高めている。

3 4技能バランス型

ひとつのレッスンで「聞」「読」「話」「やり取り」「話」「発表」「書」の5領域すべてを網羅したカリキュラムとなっており、4技能をバランスよく鍛えられる。



生徒さんの声

覚えるだけでなく、習ったものを「使う」
環境があるからこそ、本当に身につく!

【長野南校】
小学生コース DL中準Bクラス、
算数小6GL 受講中
よこやま こうたろう
横山 光太郎くん
通明小学校6年

早く英語をスタートしたおかげで、 学校の授業も「分かる」から楽しい!

小学2年生からアーネスト独自の「デュアル・レッスン®」で「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく鍛えている横山光太郎くん。そのため小学校で英語の授業が始まって同級生とはスタート地点が違うと感じていた。週2回ある学校の英語の授業は、挨拶や友達同士で簡単な会話を交わしたり、英語の音声を聞き取るなど、「聞く」「話す」が中心。「アーネストでは、音読もしっかりやっているので、特に身構えることなく自然に言葉が出てくる感じです。学校ですでに英語が苦手という友達もいるけれど、僕は楽しく授業が受けられています」と「わかる」ことが自信につながっているという。また、初めて見る単語も「こんな感じで読むんじゃないかな」と正解を導きだせるのも、フォニックス(スペルと音の規則性)をマスターしているからこそ。基本がしっかり自分の中に定着していることを実感していた。

学年に合った学び方と積み重ねが大事。 踏み固めてきた土台が自信と未来の夢へ

小6からは中学準備コースとなり、今までの会話のレッスンに加え、文法の基礎やルール、単語や文章を書く力など、中学に入っても困らないようなカリキュラムになっている。「今までなんとなく使っていた構文も実は細かいルールがあり、覚えるのは大変だと思いましたが、今のうちにきちんと理解しておくことで、これからの先の学びやすさが違うと思います」。担当の花立海智先生も「光太郎くんは今まで培ってきた会話力をライティング力に繋げるべく頑張っています。毎回行っている単語テストでもその成果が出てきています。レッスンも元気に積極的に発言してくれるなど、今後の成長がとても楽しみな生徒です」と期待を寄せている。

また「習う」と「話す」は違うという光太郎くん。「単語や接続詞をインプットするだけではなかなかうまく話すことはできません。アーネストで外国人の先生と実際に会って会話することで単語をどう使い、文を作りたいのかを考える力がついたと思います」と、先生との日常的な会話の中にも学びが多いと言います。

今の夢は海外へのひとり旅。「自分でホテルを取ったり、お店で買物をしたり、一人で旅行がしたいです。アーネストで日々、先生と気軽に交わしている会話が将来、外国へ行ったときに役に立つはずですよ」と目を輝かせていた。



マット先生と会話することが
楽しいという横山光太郎くん

来春新中1生のための準備コース開講!! 中学英語のレベルが高くなってきています!!入学してから苦戦しないために!

学校別 中学準備コース

小6生
対象

- 一般公立中進学予定 小6生クラス
- 屋代附属中進学予定 小6生クラス
- 信大附属中進学予定 小6生クラス
- 長野日大中進学予定 小6生クラス



河合塾 河合塾グループ
幼児から高3生の英語専門校
アーネスト英語学院
earnest english academy

info@eeanet.com
アーネスト英語学院

WEBは
こちらから



長野本校

長野市南千歳町965番地
● 営/火曜~土曜 (11:00~22:00)
● 休/日・月曜

☎026-268-0050



長野南校

長野市篠ノ井会45番1
● 営/火曜~土曜 (11:00~22:00)
● 休/日・月曜

☎026-214-5150



NEW 上田校

上田市中央1丁目2-17
八幡屋松尾町ビル
● 営/火曜~金曜 (13:00~22:00) (土曜11:00~21:00)
● 休/日・月曜

☎0268-75-8650

4月新年度生受付中!!

フレンドキャンペーン実施中!

◆ご紹介頂く在校生と、ご入会頂く新入生の方両方に特典があります!

入学半額!! 11,000円(税込) ⇒ 5,500円(税込)

2023

3/31まで

11月開校

